

「利根川水系鬼怒川河川整備計画（原案）」に対する公聴会

日 時：平成28年1月18日（月）10:00～10:20

会 場：①国土交通省関東地方整備局下館河川事務所

発言者：公述人 7

筑西市伊讚美の■■■■と申します。どうぞよろしく申し上げます。

先般、関東・東北豪雨による鬼怒川の大洪水において、橋梁に迫る洪水や堤防のないところから住宅街に洪水が浸水する様子を、恐怖を感じながら撮影した経験の話をさせていただきます。

私は鬼怒川の近くには住んではいませんので、直接被害は受けておりませんが、平成14年からゴミの不法投棄などで汚れた鬼怒川の河川敷をきれいにするために、鬼怒川を愛する会を、そういう組織を立ち上げて仲間と共にボランティアで花畑を造成したり、ゴミ拾いなどを行ったりしている者です。

これまでの大きな洪水で花畑が水没したことが何度かありましたが、今回ほどの大きな洪水は経験がありません。ましてや、堤防が造られていない川沿いの地域の多くの民家が床上浸水をしたなど、見聞きしたこともありませんでした。これから鬼怒川の河川敷を確実に進めていただきたいので、私が恐怖を感じながら撮影した写真を見たいと思います。

濁流と共に、濁流がごうごうと音を立てながら、渦を巻いて流れる大量のゴミを見ていると目が回りそうな恐怖を感じます。これは国道50号線の新川島橋の上流より撮影した写真です。

次は、水戸線鉄橋上流、花畑のほぼ中心にありまして、鬼怒川を愛する会の活動の拠点でシンボルツリーの胡桃の木がすっぽり冠水しています。濁流の下にコスモス畑が広がっているところです。

これは、JRの水戸線鉄橋が向こうに見えますが、その横に民間の企業があるのですが、その高台から撮影した写真でちょうど花畑一帯がすっぽり水にかぶっているところです。

この写真は、水戸線の鉄橋で、鉄橋に迫る濁流に、もし鉄橋が流されでもしたらどうしようというような、ぞっと恐怖を覚えるような写真です。大量のゴミが濁流と共に流れて、これが普段穏やかな流れの鬼怒川なのかなと思うほど、自然の猛威を改めて感じます。

これは、私が活動を始めたときにこの鬼怒川がサケの遡上するところで有名で、意外と地域の人たちがそういうことにあまり関心を払わないので、そういうことをPRしようということで、サケの遡上をPRする看板を立てたところなのですが、だいたいこの看板から下に1.5mぐらい脚部があるのですが、すっぽり水没しているところです。

これは旧川島橋の国道50号のところからJRの鉄橋に向かって撮った写真です。大量にゴミが流れてくる様子、橋脚にいくらかもないくらいに水位が迫っているところで、水戸線の鉄橋が流されるようなことがあってはどうなるのかなというような恐怖を感じる写真ではあります。

ここは、昔からあった道路で、坂道で川の方に下っていくわけなのですが、まっすぐ二股になってますけれども、これを先に行くと鬼怒川なのですが、その坂道を鬼怒川の水が逆流してこちらに向かって流れています。そして、その隣に住宅に入る道路があるのですが、その坂を逆流してきた水が押し流すようにごうごうと音をたてながら、しかも波を立てて流れている状況です。

筑西市伊佐山地先の住宅街の一角です。住宅街のガスボンベが濁流に押し倒されて浮いている状態です。

この辺一帯はすぐ隣が鬼怒川ということで、みんな庭先が鬼怒川に面したところが多いところなのですが、消防隊が避難勧告とかそういう誘導に、いろいろ活動したわけなんですけど、今までに一度もこういう浸水なんかしたことがないところなんだから絶対に避難なんかしなくても大丈夫だと言って、そういう人たちは消防隊を困らせたというような話も後から聞きました。

この写真は通行止めになっていた川島橋の上流から撮影したものなのですが、大きな蕎麦屋さんで、向かって左側の生け垣の先は鬼怒川に面した土手です。このお蕎麦屋さんは裏側にはさっきの坂道の濁流が流れていて、そのような状態でまるっきり水で囲まれたような状態で、甚だしい床上浸水になっていたところですよ。

地元消防団とか、地域の消防団が各地に出動して万全の対策をした関係で1人の被害者が出たり、そうした問題が発生しなかったことが不幸中の幸いだと思います。

これは、JR水戸線鉄橋の上流にある民間の会社の一部なのですが、真ん中は河川敷で道路になっていてその先は鬼怒川ですが、関本二宮線という道路がありまして、そこに面したところで、その道路から100mぐらいのところまでこういう状態になったところですよ。

この写真は、JR水戸線鉄橋の上から撮った写真で、鬼怒川左岸は川に面してこういう住宅街がある関係でみんな一斉に床上浸水になっているところですよ。先ほどのサケの看板が真ん中あたりにちょっと小さく見えますが。

そこから左に入った水戸線鉄橋の下流なのですが、奥深く水が流れ込んでそれがちょうど先の方の高層の建物の先から川のようになって住宅街に流れ込んでいます。

これは、水戸線鉄橋から上流を展望した写真で、私らの花畑一帯が浸水している、水没している状態ですよ。

各地に消防団員が出動して、いろいろ配慮していただいた関係で、何事もなかったことが不幸中の幸いだったと思います。

一体こんな大量のゴミがどうしてこんなに流れてくるのだらうと思うほど、長い時間ひっきりなしに、こうしたゴミが下流、下流へと押し流されております。

これは、50号、新川島橋の下流に国交省の川島水位観測所があります。その向こう側に鬼怒小貝漁業組合の鮭の孵化場があります。そういうのが水に浸かっている状況を右岸の方から展望して撮った写真ですよ。

洪水が引いて9日目、濁流が引いた後、大量に流れ込まれてきた土砂の堆積があったりして、しかもコスモスはなぎ倒されて、抜けないだけ良かったなと思ったのですが、こんな状態になりました。ところがしばらくした後、これは10月25日に撮影したものなのですが、あんなに散々に痛めつけられたはずのコスモスが見事に花を咲かせたんですね。これには、私共も勇気づけられました。元気をもらいました。しかし、水没、浸水を受けたりした人たちがここに来て、癒やされたとか、これで元気をもらったというような、喜んだ人たちがたくさん居ます。

こんなことで、今回は大変大きな洪水で被害を受けましたが、今後こうしたことが二度と発生しないように河川の整備をお願いして、安心して住める街になるように取り組みを宜しく願いしまして、私の説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。